

ロシアはウクライナ侵略戦争やめろ！ 核兵器禁止・国連憲章・憲法九条守れ！の行動を！

2022年3月1日 ノー・ウォー美術家の集い横浜 / ノー・ウォー横浜展

“もう戦争をしてはいけない”二つの世界大戦の惨禍の経験から、「主権の尊重」「領土の保全」「武力行使の禁止」を国連憲章に刻んだ人類は、2022年1月核兵器禁止条約を発効させ、核兵器の開発、保有、使用に核による威嚇の禁止を加えて「核兵器は人類が持つてはならない絶対悪」に位置づけ、人類の反戦・平和への歩みを更に大きく踏み出しました。

また、日本は“武力による威嚇又は武力の行使は、国際紛争を解決する手段としては、永久にこれを放棄する”を明記する憲法九条をかかげ反戦・平和の国際秩序づくりの一翼を務めてきました。

その反戦・反核を掲げる戦後の国連憲章にもとづく平和の秩序づくりが、ロシアのプーチン政権の、「民族問題」を口実にしたウクライナへの侵略によって根底から脅かされる重大な事態が起きています。

プーチン大統領が述べる侵略を合理化する弁明は、「領土拡張」の野心に満ちたもので、戦闘の状況によっては核兵器の先制使用も考慮すると言う、人類が到達した反戦・平和の努力を根底から覆す、絶対に許してはならないものが含まれています。ウクライナ侵略の実相が伝わるにつれて「侵略を辞めろ」声が、急速に広がっています。東京、ヒロシマ、ニューヨーク、ベルリン、モスクワ、パリ、ローマ、ヨーロッパ各地で多様な抗議を展開され、スポーツ界では世界の有名選手が相次いで侵略に抗議する声を揚げ、ロシアでは科学者、ジャーナリスト 2000 名が「ウクライナ侵略に断固反対」の書簡を発表。わずか数日にして、その声と行動が急速に世界を包み始めています。

しかし、プーチン政権にウクライナ侵略の野望をあきらめさせるどころにまで、いたっていない現実、不正義な戦争が狂暴になる危険も軽視できません。ロシアは直ちにウクライナへの侵略戦争を辞めろ！ の声と行動を更に広く強く起こしましょう。

憲法 9 条で“戦争の放棄”を国際社会に宣言している日本の役割はこの時期、極めて大きなものがあることに誇りと確信をもって力を合わせようではありませんか。世代、地域、ジェンダーを越えた反戦・平和・反核の ART の輪でロシアのウクライナ侵略戦争を包囲し、断念させましょう。